

この「ジオパーク通信」では、洞爺湖有珠山ジオパーク（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）の見どころ・楽しみどころ、最新のジオパーク情報をお知らせしていきます。



ジオパークって、どこ？

ジオパークとは、人工的に作られたテーマパークとは違い、もともとの大地の特徴を保全し、観光や教育に活用している地域一帯を指します。

洞爺湖有珠山ジオパークのエリアは、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の全域。約 51,000 人が暮らし、年間 70 万人もの観光客が訪れるこの地域は、ユネスコ世界ジオパークに認定されています。



ジオパークって、何するところ？

「ジオ」は英語で「地球」を示す言葉です。
ジオパークは、地球の歴史や活動を知り、楽しめる地域のこと。そのための散策路や各種の展示施設、ガイドブック、案内役がそろっています。
ここでしか見ることのできない「大地の物語」を探してみませんか？

例えば、ここも見どころ！



300 万年前の火山活動の証
小幌洞窟（豊浦町）



カルデラ壁が崩れ島になっ
た浮見堂（洞爺湖町）



1822 年の噴火災害を伝え
る有珠善光寺（伊達市）



麦畑から誕生した昭和新年
（壮瞥町）

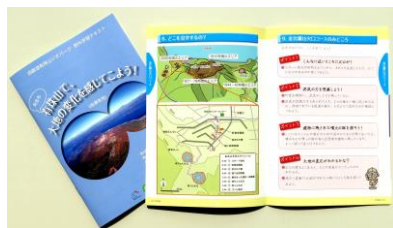
お知らせ

洞爺湖有珠山ジオパークについて、様々な方法で情報をお伝えしています。資料をご希望の方は、ジオパーク推進協議会（洞爺湖町役場内 TEL74-3015）までお問合せ下さい。



絵本『11 万年のうえの 1 日』

ジオパークで生きる動物や人々の暮らしと、大地とのつながりを絵本にしました。



小学生～高校生向け野外学習テキスト
「火山編」「歴史文化編」「植生回復編」
地元で暮らしていても知らなかった見どころ・学びどころを紹介。
データはHPでも公開しています。



ジオパークガイド

※ 1 冊 200 円
全 8 冊。コースごとに地形の成立ちについて説明しています。大人向けのガイドブック！



